

六本木男声合唱団倶楽部
第11回定期公演
三枝成彰 作曲
六本木男声合唱団倶楽部委嘱作品

The Last Message.
最後の手紙。

日時 2012年7月18日(水)
18:30開場 19:00開演
会場 サントリーホール大ホール
〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1
Tel. 03-3505-1001

指揮 大友直人
合唱 六本木男声合唱団倶楽部
管弦楽 東京交響楽団
演出 辰巳琢郎

主催 六本木男声合唱団倶楽部
共催 (株)メイ・コーポレーション

チケット
SS席(サポーター席)¥30,000/
S席¥10,000/A席¥8,000/B席¥5,000/
C席(学生席)¥1,000 ※公演当日学生証をご持参ください。

お問い合わせ・チケット取り扱い
六本木男声合唱団倶楽部事務局
Tel. 03-3584-0649 Fax. 03-3584-1952
E-mail: 6dan-office@rokudanku.com
チケットぴあ
Tel. 0570-02-9999 (Pコード167-442)

ROCKDAN.
www.rokudanku.com

残された言葉は、いのちの祈りです。

最後の手紙 The Last Message

編集／ハンス・ワルター・ベア 訳編／高橋健二
構成／眞木準 補作／道面宜久
作曲／三枝成彰

(※国名は手紙が書かれた当時のものです。)

1 フランス

1943年に16歳でレジスタンスとして

ブザンソン市で処刑されたアンリ・フェルテ

：たいせつな日記は、愛しいジャンヌに：永遠の愛をこめ、祈ります。神のそばで…

2 日本

1945年ルソン島で戦没した

35歳の桔梗五郎が妻に残した手紙

：青いプリンセスのワンピースを着たおまえの夢を見た。おまえは子を産んでからいっそう美しくなった…

3 アメリカ

1945年アメリカ空軍の日本空襲で戦死した

ウィリアム・ティディマン・シユケル39歳

：引き金に指をつけたまま死んでいた天使の瞳のアメリカの少年兵がいた…

4 ブルガリア

ニコラ・ヴァプツァロフ

32歳で共産党パルチザンとして1942年に射殺

夜の夢に：君の姿をぞんぶんに眺めあかすだろう。くちづけを：また去っていく。

5 ポーランド

1945年ワルシャワ最後の市街戦で戦死した

ユダヤ人女性の手記

：わたしの愛するお母さんは：武器をひと日見ることにも恐怖を抱いたのに：「重要なことのために働いて、むしろ弾にあたって死にたくないでもどんなことがあってもガス室の中では死んではなりません！」と言った…

6 イタリア

1945年ポロニー出身の学生ロベルト・ナンニ

落下傘兵として17歳で戦死

：先に撃たないと僕が撃ち殺されてしまうから、撃ち倒すしかないパルチザンたち…同じ言葉話すし、もし危険に陥ったとき、僕が死ななかつたら彼と同じように「ママ！」と叫ぶのです。

7 中国

イエン・ユイ

1943年戦傷、その負傷がもとで、1949年に死亡
まだ子供なのにすでに前線に：父親をくりの大きな体で帰ってきた。彼は母の目を見つめ、その胸に身を投げ出した。まるで子供のように…また母に別れを告げなくてはいけない時が来る。

8 イギリス

1942年北アフリカで戦死した

パトリック・ホールズヴェン

この戦争に勝つと言うことが本当に意味のあることなのだろうか…

9 朝鮮

ユン・トンジュ

韓国独立運動のために京都で逮捕され、

1945年福岡刑務所で死亡

：一つめの星を「追憶」と名づけた。二つめの星は「愛情」。三つめの星は「孤独」。四つめの星は「憧憬」。五つめは「詩」。そして六つめの星は「母」。：みんな星のようにあまりに遠い…

10 ソビエト

イエフゲニイペトロフ

1903年オデッサ生まれ、1942年に戦死

構え難い、血なまぐさい一日が過ぎる。：戦争は自然から全てを奪った。：そして、平和の第一日目に、人々は自然がどんなに美しいかを再び思い出すことだろう。

11 ドイツ

1944年戦死したヘルベルト・ドゥックシュタインの

まだ生まれぬ我が子への手紙

：おまえの心臓の鼓動が、行くべき定められた軌道を刻むかぎり、いつまでも、おまえを愛する。どこにいても、おまえを守る…

12 トルコ

トルコ政府のアルメニア人迫害によって

フランスへ亡命を余儀なくされた

ミザーク・マノウキアンの妻への手紙

：僕は、最愛の妻と僕の人生に、さよならを言う…

13 日本

日本戦犯としてラバウルで、28歳で刑死した

片山日出雄の日記

：わたしは濠洲人になったことのために死ぬのではなくして、日本が戦時中なしたことゆえに死ぬのであります…

昨年の感動公演に、ヨーロッパ諸国の大使より手紙を頂戴しました。抜粋でご紹介します。

第二次世界大戦の最も苛酷な戦場で命を亡くした若者の手紙には、心が締め付けられます。彼らは皆、無理やり、また悪夢にすら想像しなかった虐殺の渦の中に巻き込まれました。つむがれた言葉には、ただ、愛する人々との普通の生活を望んでいることを示しています。なぜ、今日に至っても戦争と暴力が、世界の多くの人々を苦しめ続けているのでしょうか。この力強い作品が暴力的思考と行動に対するひとつの戒めとなるのではないのでしょうか。

元駐日オーストリア大使 ユッタ・ステファン・バストル

六本木男声合唱団の素晴らしい声と完璧な歌を通じて、力強いメッセージを観客に伝えておられたことに、ほんとうに心から感動いたしました。アマチュアの団体なのに、公演はプロのごとく熱狂的なものでした。

「最後の手紙」が私の心に、そしてあの時聴いていた全ての観客一人ひとりの心に、戦争という悪と平和の尊さとこの世のあらゆる命の大切さを思い出させてくれました。

13の手紙が歌い終わったとき、私は悲しみと感謝と希望が入り混じった気持ちに押しつぶされそうでした。涙をこらえるのに必死でした。

元駐日ロシア大使 ミハイル・ペールイ

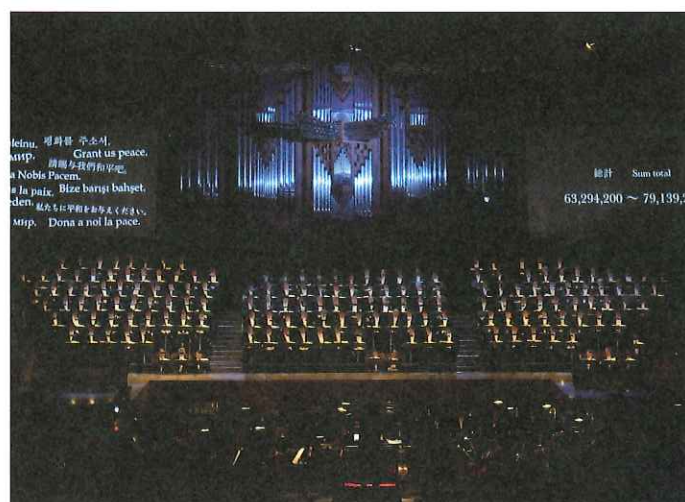
平和な世界へのこの類の無い訴えが、世界中に響くことを心より願います。

駐日スイス大使 ウルス・ブーヘル

六本木男声合唱団倶楽部

Roppongi Men's Chorus Club

1999年、エイズ・チャリティを契機に二十数名の著名人を中心に結成。子供地球基金、アフガニスタン救急車募金チャリティナイト、インド洋津波救援チャリティイベントなどのボランティアや、ハワイ沖えひめ丸海難事故鎮魂歌「希望海」、世界卓球テーマソング「ネットを越えろ」、TVアニメ主題歌「鉄人28号」、地雷除去支援ソング「ピース・ロード」などのCD出版。アテネ五輪聖火リレー応援ステージ、東京マラソン君が代斉唱(6年連続)やCM・TV番組出演、ヨーロッパ、ハワイ他での海外公演など、活動は多岐にわたる。2010年、団長 三枝成彰が書き下ろした「最後の手紙 The Last Message」をサントリーホールにて初演、大成功を収める。現在221名(2012年3月時点)



写真：山本倫子